

2009年（平成21年）の日本の天候（速報）

本資料は、全国154地点の气象台・測候所などにおける12月20日までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。確定値による資料は平成22年1月4日に発表します。

2009年（平成21年）の日本の天候の特徴：

○年平均気温は全国的に高かった

北日本から西日本にかけては年前半に高温となることが多く、沖縄・奄美では7月から9月にかけて高温が続いたことから、年平均気温も高くなった。

○日本海側の降雪量は少なかった

1、2月と暖かかったことから、日本海側の地方の降雪量は少なかった。

○4、5、6月は東日本日本海側、西日本で降水量少なかった

4月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、5、6月と低気圧や前線の影響が小さく、東日本日本海側や西日本では降水量がかなり少なかった。特に西日本では農業用水、工業用水の取水制限などの措置がとられた。

○北日本から西日本にかけて、7、8、11月に日照時間が少なかった

北日本から西日本にかけて7、8、11月に日照時間が少なかった。特に7月は記録的に少なく、農作物の生育などに影響し、中でも北日本では、北海道を中心に、低温・多雨も重なり、影響が大きかった。

○7、8月に各地で大雨

7月から8月前半にかけ、北日本では低気圧が発達しながら頻繁に通過し大雨となった。7月後半には梅雨前線の活動が活発となり、西日本を中心に各地で大雨となった。特に、7月19日から26日にかけては、中国地方から九州北部地方にかけ記録的な大雨となり、浸水害や土砂災害に見舞われ、「平成21年7月中国・九州北部豪雨」と命名された。また、8月8日から11日にかけ、台風第9号が日本の南海上を東進し、日本列島に暖かく湿った空気をもたらし、東日本から西日本にかけ記録的な大雨となった。

○梅雨入りは本州で早く、梅雨明けは全国的に遅かった

梅雨入りは、沖縄地方から九州南部にかけては遅く、九州北部地方から東北地方にかけては早かった。梅雨明けは、太平洋高気圧の日本列島付近への張り出しが弱く、このため、多くの地方で梅雨明けが遅くなったほか、梅雨明けが特定できなかった地方もあった。

○2年ぶりに台風上陸も、発生数は少なかった

10月8日には2007年9月以来2年ぶりに台風第18号が上陸し、東日本から北日本を縦断、各地で暴風や大雨となった。発生数は22個で平年（26.7個）を下回った。接近数は8個と平年（10.8個）を下回った。

※「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1971～2000年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現する。

1 概況

年初は寒気が南下し気温も低かったが、その後は1月は北日本や東日本を中心に、2月は全国的に気温が高かった。日本海側の地方の降雪量は少なく、特に北・東日本日本海側で顕著だった。冬型の気圧配置が続かず、低気圧がしばしば本州付近を通過したことから、北・東日本太平洋側や西日本でも平年に比べ曇りや雨または雪となることが多く、北日本から西日本にかけては東日本日本海側を除き、冬の降水量も多くなった。一方、沖縄・奄美では、寒気や低気圧の影響がなく、晴れの日が多く、少雨・多照となった。

春には、北日本から西日本かけ、時折大陸から強い寒気が南下して低温となるなど、気温の変動が大きかったものの、3か月を平均すると高温となった。3月は低気圧と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わったが、4月には高気圧に覆われて晴れの日が多く日照時間は多くなった。5月も低気圧の影響を受けにくく、降水量は少なく、日照時間も多かった。沖縄・奄美では、3月、4月には気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、5月に入ると、前半中心に高気圧に覆われ、晴れの日が多く、梅雨入りが平年より遅くなった。

夏は、6月には、平年より早く梅雨入りしたものの、梅雨前線が本州から離れた南海上に停滞することが多く、東日本や西日本では平年並か平年を上回る日照時間となったが、7月から8月前半にかけ、低気圧や梅雨前線、台風第9号の影響で、北日本から西日本にかけて日照時間が少なく、また、各地で大雨となり、梅雨明けが遅れた。北日本では、6月も低気圧や気圧の谷の影響で日照時間が少なかった。8月後半には天気は概ね数日の周期で変わるようになり、東・西日本では移動性高気圧に覆われ、晴れの日が多くなった。沖縄・奄美では、6月は太平洋高気圧の張り出しが弱く、低温となったが、7月以降は太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が続いた。

秋は、9月には全国的に高気圧に覆われ、晴れの日が多く、日照時間が多く、降水量が全国的にかなり少なく、東・西日本を中心に記録的な少雨となった。10月には、台風第18号がおよそ2年ぶりに本州に上陸し、広い範囲で暴風や大雨となった。11月になると、低気圧や前線が日本列島付近をしばしば通り、その影響で北・東日本日本海側を除き降水量は多かった。9月には少雨、10、11月には多雨と対照的であった。気温は、北日本から西日本にかけては、時々寒気が流れ込み、変動が大きかったが、沖縄・奄美では、9月から10月上旬までは顕著な高温が続いた。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(12月20日までのデータによる)

(1) 平均気温

年平均気温は、全国的に高く、特に沖縄・奄美ではかなり高かった。

(2) 降水量

年降水量は、北日本太平洋側が多かった。根室（北海道）では、12月20日までの降水量の平年比が最大値を上回っている。一方、東日本日本海側、西日本太平洋側および沖縄・奄美では少なく、北日本日本海側、東日本太平洋側および西日本日本海側では平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、北日本、東日本および西日本日本海側で少なかった。一方、沖縄・奄美では多く、西表島（沖縄県）では、12月20日までの日照時間の平年比が最大値を上回っている。西日本太平洋側では平年並だった。

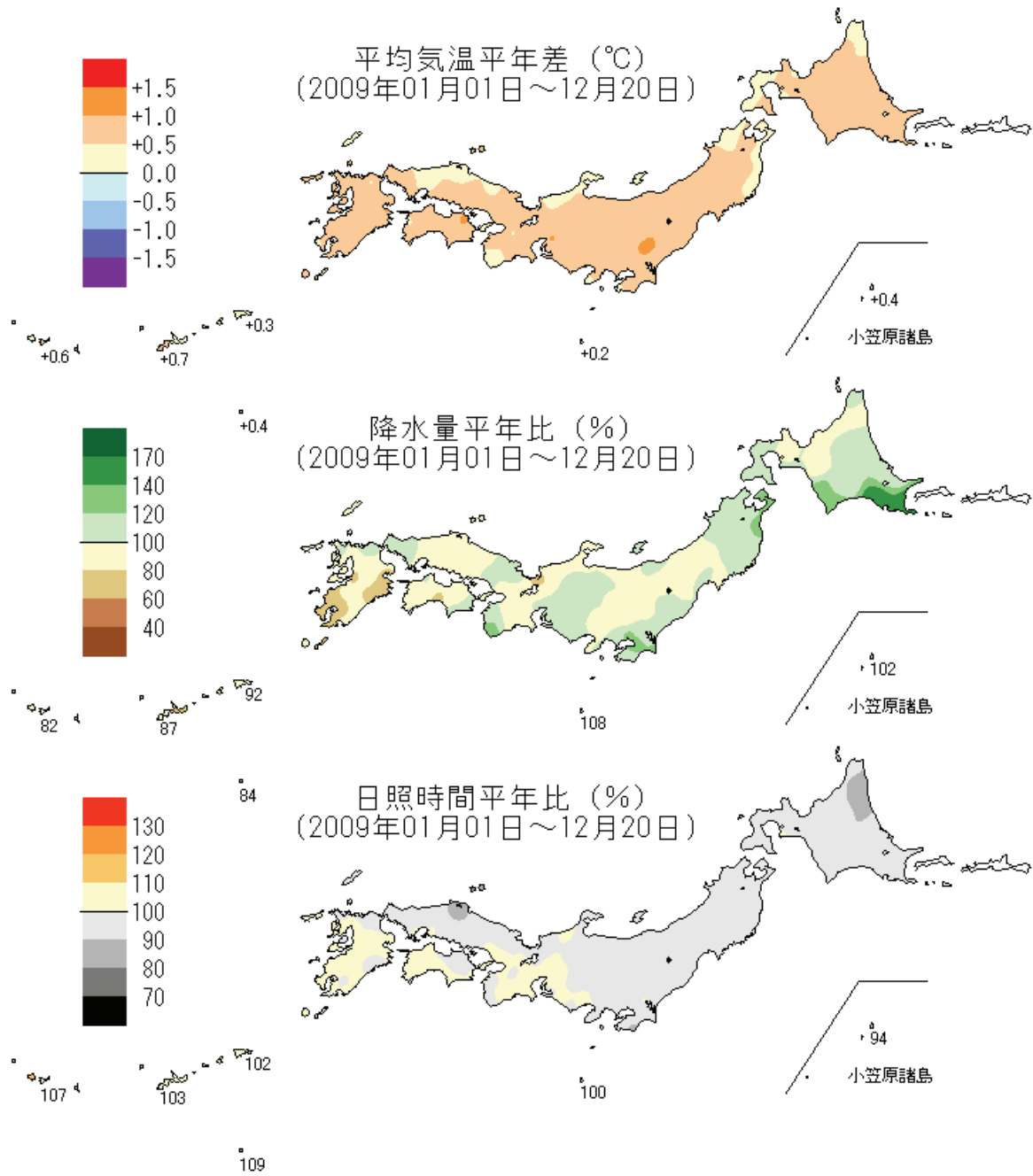
地域平均平年差（比）と階級（2009年）（12月20日までのデータによる）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	0.6 (+)	107 (+) 日 100 (○) 太 114 (+)	94 (-) 日 93 (-) 太 94 (-)	北海道	0.6 (+)	110 (+) 日 100 (○) 才 108 (+) 太 123 (+)	93 (-) 日 93 (-) 才 88 (-)* 太 97 (-)
東日本	0.7 (+)	101 (○) 日 92 (-) 太 104 (○)	97 (-) 日 96 (-) 太 98 (-)	東北	0.6 (+)	104 (○) 日 101 (○) 太 107 (+)	95 (-) 日 95 (-) 太 94 (-)
西日本	0.6 (+)	93 (-) 日 95 (○) 太 92 (-)	99 (○) 日 97 (-) 太 100 (○)	関東甲信	0.7 (+)	105 (○)	96 (-)
沖縄・奄美	0.5 (+)*	89 (-)	105 (+)	北陸	0.5 (+)	92 (-)	96 (-)
				東海	0.7 (+)	102 (○)	100 (○)
				近畿	0.5 (+)	102 (○) 日 102 (○) 太 102 (○)	99 (○) 日 95 (-) 太 101 (○)
				中国	0.5 (+)	94 (○) 陰 93 (○) 陽 96 (○)	94 (-) 陰 90 (-) 陽 98 (-)
				四国	0.7 (+)	95 (○)	100 (○)
				九州北部	0.7 (+)	94 (○)	100 (○)
				九州南部 ・奄美	本 0.6 (+)* 本 0.6 (+)	本 82 (-) 本 79 (-)	本 101 (○) 本 101 (○)
				奄美	奄 0.3 (+)	奄 95 (○)	奄 103 (+)
				沖縄	0.6 (+)*	87 (-)	105 (+)

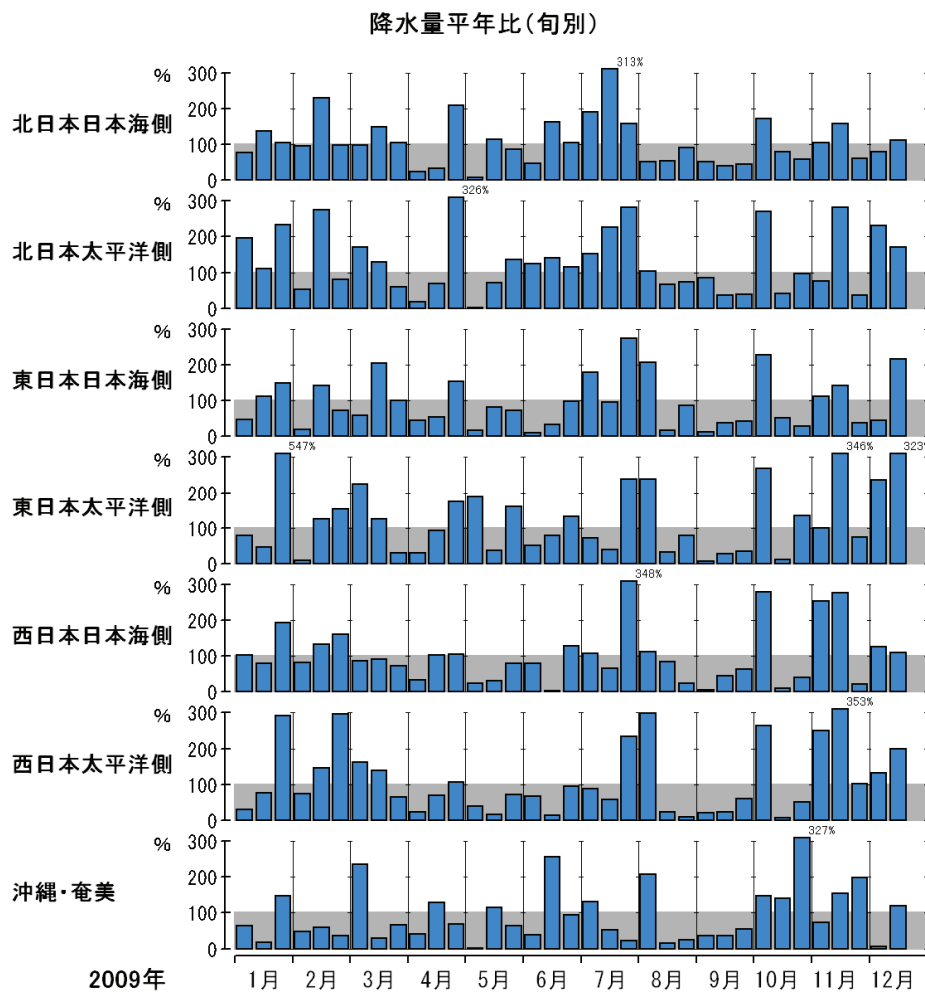
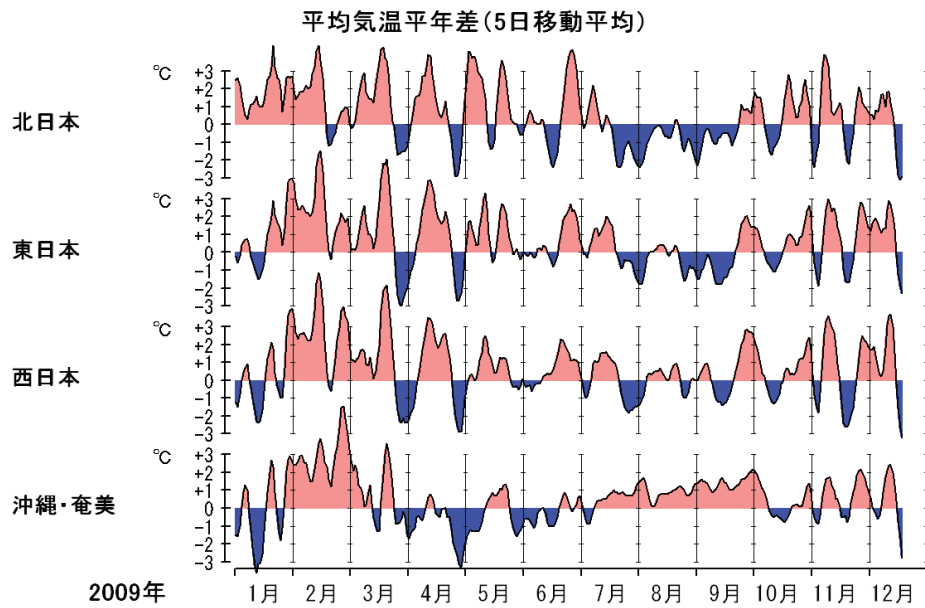
階級表示 - :低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い) 地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
 *はかなり低い(少ない) かなり高い(多い)を表す オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
 太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台・測候所等での観測値で、観測所数は 154 地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている 107 地点が対象である。
 ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1971~2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1971~2000 年の観測値の下位または上位 10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

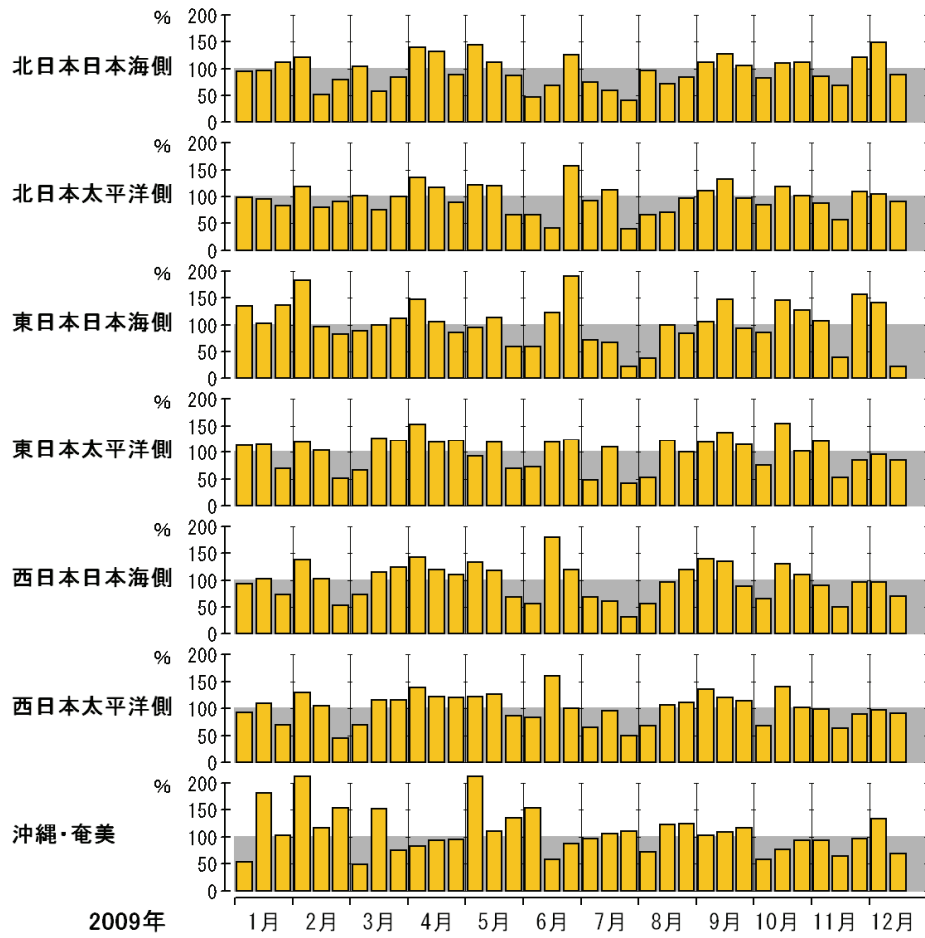
平年差（比）図（2009年）（12月20日までのデータによる）



地域平均平年差（比）の経過（12月20日までのデータによる）



日照時間平年比(旬別)



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）の更新地点数

- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載した

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	1、1タイ	0	4	0	0	0	0	0
2月	12、4タイ 東・西日本 沖縄・奄美	0	0	0	1	0	5 北海道	0
冬	5 北・東日本	0	0	4	5 東日本 沖縄・奄美	0	1	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	0	0	0	1	7 東・西日本	0	0	0
5月	1、2タイ	0	0	10 北・西日本	4	0		
春	1タイ	0	0	0	1	0		
6月	0	0	1	0	0	0		
7月	0	0	10 北・西日本	0	0	11 北～西日本		
8月	0	0	0	0	0	0		
夏	0	0	1	0	0	4		
9月	7 沖縄・奄美	0	0	19、1タイ 全国	0	0		
10月	0	0	0	0	0	1		
11月	0	0	8 西日本	0	0	1	0	0
秋	1タイ	0	0	0	0	0		
年(速報) (2009年)	0	0	1		1	0		

3 季節別の天候経過

冬（2009年12月～2009年2月）：

- 全国高温、北・東日本、沖縄・奄美で顕著
- 東日本日本海側で顕著な多照
- 沖縄・奄美で顕著な少雨・多照
- 日本海側の地方は少雪、特に北・東日本日本海側で顕著

12月末から1月前半は、大陸からの寒気が南下し、冬型の気圧配置となる日が多く、西日本以西を中心に寒気の影響を受け、西日本日本海側では雪や雨の日が多かった。しかし、その後は、冬型の気圧配置は弱く、概ね数日の周期で高気圧と低気圧が本州付近を通過した。気温は全国的に高く経過し、日本海側の地方の降雪量は少なく、特に、北・東日本日本海側ではかなり少なかった。また、東日本日本海側では平年に比べ晴れの日が多かったが、低気圧の通過時に天気が崩れることが多く、北日本、東日本太平洋側、西日本では降水量が多くなった。沖縄・奄美では、1月上旬を除き、寒気や低気圧の影響を受けにくく、晴れの日が多かった。このため、顕著な少雨・多照となった。

平均気温は、全国的に高く、特に北・東日本、沖縄・奄美で顕著であった。降水量は東日本日本海側、沖縄・奄美で少なく、そのほかの地方では多かった。日照時間は北日本で少なく、東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多かった。

春（3～5月）：

- 気温の変動が大きかったが、北・東・西日本では高温
- 西日本で顕著な少雨
- 沖縄・奄美の梅雨入り遅い

北日本から西日本にかけて、3月下旬から4月初めと4月下旬には大陸から強い寒気が南下して低温、その他の時期は高温と、気温の変動が大きかったものの、3か月を平均すると高温となった。3月は低気圧と高気圧が交互に通る、天気は概ね数日の周期で変わったが、4月は高気圧に覆われて晴れの日が多く日照時間は多くなった。5月も低気圧の影響を受けにくく、降水量は少なく、日照時間も多かった。東日本日本海側や西日本では降水量が少なく、特に5月にはかなり少なかった。沖縄・奄美では、3月、4月には気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、5月に入ると、前半中心に高気圧に覆われ、晴れの日が多く、梅雨入りが平年より遅くなった。

平均気温は、沖縄・奄美で平年並であったほかは高く、北・東日本で顕著だった。降水量は北・東日本太平洋側で平年並であったほかは少なく、特に西日本で顕著だった。日照時間は北日本太平洋側、東日本日本海側で平年並のほかは多く、特に西日本太平洋側で顕著だった。

夏（6～8月）：

- 北日本から西日本にかけて寡照
- 「平成21年7月中国・九州北部豪雨」など、各地で大雨
- 北日本と西日本日本海側で多雨
- 沖縄・奄美の高温

北日本から西日本にかけては、日照時間が少なかった。6月は、平年より早く梅雨入りしたものの、梅雨前線は本州から離れた南海上に停滞することが多く、東日本や西日本では平年並か平年を上回る日照時間となったが、7月から8月前半にかけて、低気圧や梅雨前線、湿った気流や台風第9号の影響で、北日本から西日本にかけては日照時間が少なく、また、各地で大雨となった。北日本では、6月も低気圧や気圧の谷の影響で日照時間が少なく、北日本日本海側では1946年の統計開始以来最も夏の日照時間が少なくなった。太平洋高気圧の日本列島付近への張り出しが弱く、多くの地方で梅雨明けが遅くなったほか、日本海側の地方などで、梅雨明けが特定できな

った。8月後半には天気は概ね数日の周期で変わるようになり、東・西日本では移動性高気圧に覆われ、晴れの日が多かった。北日本から西日本にかけての気温は、7月下旬から8月初めにかけてなど低い時期があったものの、6月下旬から7月前半にかけては高く、夏平均では平年並となった。沖縄・奄美では、6月には太平洋高気圧の張り出しが弱く、低温となったが、7月以降は太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が続いた。

台風の発生は9個（平年11.2個）、日本に上陸した台風はなく（平年1.5個）、日本に接近した台風は3個（平年5.8個）とそれぞれ平年を下回った。

平均気温は、沖縄・奄美で高く、そのほかは平年並であった。降水量は、北日本、西日本日本海側で多く、沖縄・奄美では少なかった。日照時間は、沖縄・奄美で平年並のほかは少なく、特に北日本で顕著だった。

秋（9～11月）：

○9月は全国的に顕著な少雨、11月は西日本で顕著な多雨

○北日本から西日本にかけ気温の変動大きい

○沖縄・奄美で高温顕著

○台風第18号が上陸、暴風や大雨

9月は全国的に高気圧に覆われ、晴れの日が多く、日照時間が多く、降水量が全国的にかなり少なく、東・西日本を中心に記録的な少雨となった。10月は、上旬に2007年9月以来2年ぶりに台風第18号が本州に上陸し、沖縄地方から北海道にかけての広い範囲で暴風や大雨となった。このため、10月の降水量は太平洋側で多くなったほか、湿った気流が入りやすく曇りや雨の日が多かった沖縄・奄美でも多くなった。11月になると、低気圧や前線が日本列島付近をしばしば通り、その影響で北・東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美で降水量は多く、特に西日本で顕著だった。9月には少雨、10、11月には多雨と対照的であった。気温は、北日本から西日本にかけては変動が大きく、9月前半と10月の前半、11月初めと11月後半には寒気が流れ込み気温は平年を下回ったが、そのほかの時期は平年を上回った。沖縄・奄美では、9月から10月上旬までは顕著な高温が続き、秋の平均気温はかなり高くなった。

台風の発生は11個（平年11.5個）、日本に上陸した台風は1個（平年1.1個）、日本に接近した台風は5個（平年4.3個）と、それぞれほぼ平年程度だった。

平均気温は、北・東日本は平年並、西日本で高く、沖縄・奄美でかなり高かった。降水量は北・東日本日本海側で少なく、沖縄・奄美が多かった。日照時間は東日本日本海側ではかなり多く、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本太平洋側で多く、沖縄・奄美で少なかった。

4 全国気候表 2009年(12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	9.8	(+0.9)	1103.0	(101)	141	1585.6	(91)
稚内	7.2	(+0.3)	1144.5	(111)	162	1374.0	(93)
北見枝幸	6.6	(+0.4)	1005.0	(85)	156	1310.2]	()
旭川	7.6	(+0.5)	1110.5	(106)	155	1461.4	(92)
留萌	8.5	(+0.6)	1028.0	(90)	159	1413.0	(92)
羽幌	8.4	(+0.6)	1194.0	(95)	179	1437.6	(90)
岩見沢	8.6	(+0.8)	939.0	(84)	153	1610.8	(94)
倶知安	7.8	(+0.7)	1253.5	(87)	168	1413.7	(97)
小樽	9.1	(+0.3)	1146.5	(98)	166	1461.5	(90)
寿都	9.2	(+0.4)	1285.0	(113)	168	1323.2	(91)
網走	7.5	(+0.9)	868.5	(111)	120	1644.0	(90)
紋別	7.1	(+0.6)	962.0	(117)	128	1538.5	(91)
雄武	6.4	(+0.5)	1056.5	(120)	137	1422.0	(85)
釧路	7.2	(+0.8)	1513.5	(147)	99	1874.6	(97)
根室	7.0	(+0.6)	1565.5	(154)	104	1774.2	(98)
帯広	7.7	(+0.8)	1028.5	(113)	91	1959.4	(100)
広尾	7.6	(+0.6)	2160.5	(126)	121	1677.3	(93)
室蘭	9.2	(+0.4)	1227.0	(102)	116	1737.1	(101)
苫小牧	8.3	(+0.5)	1238.0	(102)	111	1554.8	(92)
浦河	8.6	(+0.5)	1378.5	(127)	122	1778.3	(96)
函館	9.9	(+0.7)	1285.5	(113)	149	1656.5	(95)
江差	10.5	(+0.3)	1352.5	(118)	150	1421.4	(97)
青森	11.0	(+0.6)	1410.0	(113)	154	1551.7	(93)
深浦	11.1	(+0.1)	1590.0	(110)	148	1419.7]	()
むつ	10.1	(+0.4)	1571.5	(124)	145	1582.5	(96)
八戸	10.8	(+0.5)	1203.0	(122)	95	1742.9	(93)
秋田	12.4	(+0.6)	1690.0	(102)	164	1525.8	(96)
盛岡	11.0	(+0.6)	1253.0	(101)	124	1662.1	(98)
大船渡	12.0	(+0.5)	1529.0	(101)	100	1624.9	(91)
宮古	11.1	(+0.3)	1362.5	(105)	96	1737.6	(93)
仙台	13.3	(+0.8)	1297.5	(105)	96	1678.6	(94)
石巻	12.4	(+0.7)	1018.0	(96)	98	1821.6	(94)
山形	12.5	(+0.7)	986.5	(90)	130	1529.5	(94)
新庄	11.4	(+0.5)	1722.0	(97)	180	1243.3	(93)
酒田	13.3	(+0.7)	1773.5	(98)	187	1514.9	(97)
福島	13.8	(+0.7)	1071.0	(98)	90	1638.2	(94)
若松	12.3	(+0.5)	1042.5	(94)	136	1516.0	(95)
白河	12.3	(+0.7)	1436.5	(106)	94	1719.9	(97)
小名浜	14.3	(+0.9)	1480.5	(108)	97	1871.1	(94)
水戸	14.5	(+0.8)	1456.5	(111)	106	1800.3	(99)
館野(つくば)	14.8	(+1.0)	1330.5	(109)	105	1779.5	(101)
宇都宮	14.9	(+1.1)	1394.0	(97)	98	1748.6	(94)
日光	7.7	(+0.6)	1888.0	(90)	121	1682.2	(96)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	15.4	(+0.8)	986.0	(85)	101	1947.3	(99)
熊谷	15.9	(+1.0)	1111.5	(90)	96	1868.1	(97)
秩父	13.9	(+0.7)	1166.0	(92)	98	1731.2	(95)
東京	17.0	(+0.7)	1799.5	(124)	104	1707.0	(96)
大島	16.6	(+0.5)	3251.0	(116)	121	1646.4	(95)
三宅島	18.0	(+0.2)	2767.0	(97)	125	1521.8	(91)
八丈島	17.9	(+0.2)	3291.5	(108)	157	1380.6	(100)
父島	23.6	(+0.4)	1274.5	(102)	104	1903.4	(94)
千葉	16.6	(+0.9)	1627.0	(127)	109	1633.1	(91)
銚子	16.0	(+0.5)	1891.5	(122)	118	1704.6	(90)
館山	16.4	(+0.4)	1862.0	(107)	113	1785.1	(95)
勝浦	16.3	(+0.5)	2137.5	(114)	117	1687.1	(89)
横浜	16.6	(+0.8)	1892.5	(118)	107	1776.0	(96)
長野	12.7	(+0.6)	966.5	(108)	109	1836.2	(99)
松本	12.6	(+0.7)	1088.0	(107)	96	1982.6	(97)
諏訪	11.8	(+0.6)	1350.0	(104)	109	1984.1	(97)
軽井沢	9.0	(+0.7)	1114.5	(93)	104	1790.4	(98)
飯田	13.5	(+0.7)	1760.0	(111)	118	1907.6	(99)
甲府	15.5	(+0.8)	1022.0	(93)	90	2055.4	(100)
河口湖	11.5	(+0.9)	1492.5	(98)	103	1812.6	(98)
静岡	17.3	(+0.6)	2343.5	(102)	109	2019.2	(103)
浜松	16.9	(+0.6)	1868.0	(100)	107	2118.2	(101)
御前崎	17.0	(+0.6)	2172.0	(106)	111	2066.1	(96)
三島	16.6	(+0.6)	1731.0	(94)	113	1859.5	(100)
石廊崎	17.0	(+0.3)	1721.0	(95)	106	1961.7	(96)
網代	16.7	(+0.5)	1964.0	(105)	112	1701.9	(98)
名古屋	16.8	(+1.0)	1747.0	(113)	100	2084.3]	()
伊良湖	16.7	(+0.6)	1657.5	(103)	102	2092.5	(97)
岐阜	16.6	(+0.7)	1883.5	(99)	103	2059.7	(101)
高山	11.9	(+0.8)	1876.0	(110)	142	1547.3]	()
津	16.7	(+0.9)	1519.5	(93)	99	2006.8	(102)
上野	15.1	(+0.9)	1309.5	(95)	100	1731.3	(104)
尾鷲	16.7	(+0.5)	3790.0	(97)	119	1928.5	(104)
四日市	15.5	(+0.6)	1936.0	(111)	107	1950.5	(102)
新潟	14.5	(+0.6)	1732.5	(101)	164	1563.8	(96)
相川	14.3	(+0.4)	1513.5	(103)	160	1528.6	(93)
高田	14.3	(+0.6)	2104.5	(80)	172	1419.7]	()
富山	14.9	(+0.9)	2149.5	(99)	163	1533.7	(97)
伏木	14.4	(+0.3)	2066.5	(98)	155	1555.3	(98)
金沢	15.1	(+0.4)	2223.0	(94)	155	1671.2	(102)
輪島	14.0	(+0.5)	1881.0	(91)	160	1450.5	(93)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.1	(+0.4)	1972.0	(91)	153	1579.4	(99)
	敦賀	16.0	(+0.7)	1541.0]	()	142]	1474.6
彦根	15.4	(+0.7)	1374.5	(87)	116	1783.6	(99)
京都	16.5	(+0.5)	1452.5	(95)	107	1718.8	(102)
	舞鶴	15.1	(+0.5)	1913.0	(110)	132	1427.5
大阪	17.4	(+0.5)	1158.5	(89)	104	1939.5	(101)
神戸	17.5	(+0.7)	1194.5	(95)	98	1991.8	(104)
	豊岡	14.9	(+0.5)	2085.0	(109)	144	1339.7
姫路	16.0	(+0.7)	1289.0	(105)	90	1940.6	(101)
	洲本	16.0	(+0.4)	1356.0	(94)	99	2013.3
奈良	15.4	(+0.4)	1280.0	(97)	106	1755.6	(98)
和歌山	17.2	(+0.5)	1507.5	(114)	98	1996.9	(99)
	潮岬	17.7	(+0.4)	3242.0	(129)	120	2094.9
岡山	17.0	(+0.8)	1071.5	(95)	81	1930.0	(99)
	津山	14.4	(+0.7)	1456.0	(99)	104	1685.2
広島	16.8	(+0.4)	1483.0	(97)	84	1949.7	(100)
	呉	16.9	(+0.7)	1435.5	(101)	83	1980.2
福山	16.2	(+0.8)	993.5	(86)	83	1923.3	(95)
松江	15.3	(+0.4)	1573.5	(90)	134	1505.1	(88)
	西郷	14.8	(+0.5)	1503.0	(88)	121	1503.3
浜田	15.9	(+0.4)	1589.0	(95)	116	1654.8	(96)
鳥取	15.4	(+0.4)	1798.0	(98)	130	1559.7	(95)
	米子	15.5	(+0.5)	1635.5	(94)	133	1576.4
境	15.5	(+0.3)	1720.0	(93)	134	1518.4	(88)
徳島	17.3	(+0.7)	1597.5	(105)	97	1990.6	(100)
高松	17.3	(+1.2)	981.0	(88)	79	1949.1	(96)
	多度津	16.9	(+0.6)	1007.5	(93)	88	1975.4
松山	17.2	(+0.8)	1296.5	(101)	94	1961.9	(102)
	宇和島	17.3	(+0.5)	1301.5	(79)	113	1940.3
高知	17.9	(+1.0)	2061.0	(79)	116	2066.2	(101)
	宿毛	17.6	(+0.7)	1816.5	(92)	106	2039.1
清水	18.8	(+0.6)	2735.5	(114)	113	2079.8]	()
	室戸岬	17.3	(+0.6)	2512.0	(108)	119	2110.6
山口	16.2	(+0.8)	2004.0	(107)	103	1840.0	(99)
	下関	17.4	(+0.9)	1636.5	(98)	94	1802.8
萩	16.1	(+0.5)	1953.5	(117)	119	1620.9	(95)
福岡	17.7	(+0.8)	1683.0	(104)	97	1767.0	(98)
	飯塚	16.2	(+0.4)	1912.0	(107)	109	1736.7

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.3	(+1.0)	1294.5	(78)	87	1945.8	(103)
日田	16.1	(+0.6)	1568.5	(86)	103	1717.2	(101)
長崎	17.8	(+0.6)	1789.0	(92)	102	1861.3	(102)
厳原	16.3	(+0.5)	2076.5	(98)	103	1701.0	(93)
平戸	16.6	(+0.4)	2011.0	(95)	95	1635.6	(93)
佐世保	17.6	(+0.6)	2083.0	(107)	99	1862.4	(101)
雲仙岳	13.5	(+0.6)	2371.5	(81)	111	1387.4	(98)
福江	17.5	(+0.7)	2126.0	(91)	105	1736.6	(103)
佐賀	17.3	(+0.8)	1700.0	(91)	90	1893.1	(103)
熊本	17.8	(+0.9)	1557.0	(79)	95	1932.0	(101)
阿蘇山	10.7	(+0.7)	2662.5	(83)	124	1501.0	(101)
人吉	16.4	(+0.9)	1936.5	(81)	116	1821.9	(104)
牛深	18.7	(+0.6)	1616.5]	()	107]	1970.3	(104)
宮崎	18.1	(+0.5)	2218.0	(91)	106	2097.0	(103)
延岡	17.4	(+0.8)	1670.5	(72)	96	1990.7	(96)
都城	17.3	(+0.8)	1868.0]	()	114]	1881.4	(99)
油津	18.9	(+0.7)	2316.5	(90)	119	1949.4	(103)
鹿児島	19.3	(+0.7)	1520.5	(67)	106	1910.6	(102)
阿久根	17.9	(+0.6)	1626.5	(77)	115	1934.3	(102)
枕崎	18.5	(+0.4)	1632.5	(77)	104	1942.1	(104)
屋久島	20.1	(+0.7)	3454.5	(81)	142	1535.7	(104)
種子島	20.2	(+0.3)	1754.0	(76)	111	1715.4	(94)
名瀬	22.0	(+0.3)	2608.0	(92)	156	1391.2	(102)
沖永良部	22.8	(+0.3)	1885.5	(97)	120	1914.6	(104)
那覇	23.6	(+0.7)	1726.0	(87)	113	1840.0	(103)
名護	23.1	(+0.5)	1611.0	(77)	102	1815.7	(106)
久米島	23.5	(+0.6)	1705.5	(82)	117	1738.8	(102)
宮古島	24.1	(+0.6)	1796.5	(91)	120	1833.1	(105)
石垣島	24.8	(+0.6)	1656.5	(82)	111	1947.4	(107)
西表島	24.1	(+0.3)	1978.5	(87)	127	1837.4	(112)
与那国島	24.1	(+0.3)	2118.0	(92)	142	1695.7	(109)
南大東島	23.6	(+0.4)	1348.5	(84)	91	2211.1	(109)

- (注) 1. これらは12月20日までの観測値を使った集計結果である。
2. 値の横に] がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に
用いなかった値が含まれているので注意されたい。
3. 平年差(比)は同期間の日別平年値を平均・合計したものに對する差(比)である。

5 平年差（比）が観測史上1位を上回っている地点

(12月20日までのデータによる)

過去の記録と同値は「=」で表す。

年平均気温の平年差が最高値を上回っている地点

なし

年平均気温の平年差が最低値を下回っている地点

なし

年降水量の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2009年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年)	開始年
	平年比 %	値 mm	平年値* mm		
根室	154	1565.5	1018.9	142 (1920)	1879

年降水量の平年比が最小値を下回っている地点

なし

年日照時間の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2009年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年)	開始年
	平年比 %	値 h	平年値* h		
西表島	112	1837.4	1645.8	109 (1963)	1959

年日照時間の平年比が最小値を下回っている地点

なし

(注) これらは12月20日までの観測値を使った集計結果であるので、年末までのデータを加えた確定値では変わる可能性がある。
 値の横に] がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に
 用いなかった値が含まれている。順位は極値順位以上になることは
 確実であるが、統計値の使用に際しては注意されたい。
 平年値(*)は日別平年値を平均・合計したものである。
 平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。